

新春文芸

新春に詠む短歌

それぞれの顔に映りしスターマイン一夜の空を絢爛に舞う

井上 秀子

土浦の花火大会は、花火師の競い合う大会であり華やかに行われる。見る人も、作る人も思いを空に夢の一夜。

柿の木あたりわれを呼ぶごと励ますごとひよどりが啼く明日もきたれよ

宇留野むつみ

けたたましく啼くひよどりはひととき叫んだのち、さっと飛んで行ってしまふ。私はそのいさぎよさに元気をもらっている。

ゆつさりと活けし南天の朱実ほど幸多くあれひのと酉年

菊田 智子

毎年正月は庭の南天を活けます。今年も佳き年になりますように願ひながら。

見はるかす水平線に陽がのぼるひたすら祈りぬ世界の平和を

金丸 玉貴

人狂い、自然も狂った大変な世紀を生きている。そんな思いから、待つ日の出。今年は平和な年でありますように祈った。

六義園の広らかな池にはつ春の光まきつつ水鳥あそぶ

瀬古澤和子

穏やかな日差しを浴びて池に遊ぶ水鳥。一服のお茶を頂きながら眺めていると日常の忙しさも忘れゆつたり心がほぐれゆく。

あけ初めし雲のまにまに鳴くこえはにわとり我の八度目の干支

山口 あさ

十二支のうちでもにわとりは好きで天の岩戸問題で尚更親近感を持つ。酉年八度目の九十六歳、平穏な年であります様に。

梅園の傾りにほころぶ冬至梅春を先駆けほのかに香る

平澤 良子

梅は、まだ寒さが厳しい頃つぼみがほころぶ。中でも冬至梅は早咲きの品種で、健気さと強さを感じる。

朝の窓大きく開きて太陽の燃ゆれば今年も良き酉年とならん

和希 明美

竜ヶ峰の我が家には奥座敷までも陽が入り来る。終の住家は四季に恵まれ酉は一日の幸を知らず明けのとりです。

夢ひとつ抱きて行かむ黎明に限りもあらぬ空仰ぎつつ

荒木富美子

若い頃より夢を抱いて行こうと思いつつ、何一つ成さずに高齢となった今日、結局は長く続いた短歌こそ、私の永遠の夢でした。

登りゆく径は木影に行き止まる鎌倉街道の名のみ遺して

市島 紀郎

八百年近く経つのでしょうか。いざ鎌倉!の道が土浦にありました。桜で有名な真鍋小学校まで続いていました。

子や孫の幼き頃を語り合う隣人とたのし小春日うらら

菊地 公代

長年住み慣れた地は安住の地です。お互いに子や孫を育てた当時を思い出して話し合う時心が和み癒されるひとときです。

なめこ汁のみどさやかに上下して至福の刻を過ごしをりいま

泉沢 浩志

老妻の作る「なめこ汁は好物です。特に夕餉の食卓に並ぶ、なめ汁は食欲が出て卒寿を迎えた自分には健康食と思っている。

千代の春霞浦に子連れの白鳥は空へつぎつぎ煌めき飛翔す

櫻井 雅江

シベリア東部で繁殖した白鳥は霞ヶ浦へ渡来し越冬する。親鳥の愛情に加護され成長してゆく光景は、微笑ましく正に癒される。

老いの春松は立てねど小面を床の間に掛け祝杯をあぐ

高井 昭

門松は立てないけれども自分で打った能面の気に入りの小面を飾り祝福する。

歳月は行き返りしてさざ波の霞ヶ浦に候鳥棲みつく

小松崎みずえ

霞ヶ浦のさざ波を見ているとこれまでの色々な歳月が甦る。棲みついた候鳥も多く眺めていると元気が湧いてくる。

全身の力発揮すりオの地にパラリンピックの選手健気に競う

大越 里子

ブラジルリオのオリンピックに健常者、障害者共に日本選手が活躍。パラリンピックの選手が体力限界に挑戦する姿に感動する。

新春に詠む俳句

正月や母に成り切る割烹着

母は、正月には必ず着物に真新しい割烹着を着て台所に立っていた。その姿と心意気を、私なりに引き継ぎたいと思っ

初春やなめらかに開く自動ドア

除夜を境に、新年のドアが静かに開き、一年が始まる。健康で心豊かな一年であることを願い、力強く一歩を踏み出そう。

蓮根のくの字くの字の前遊び

色あせた蓮の葉や茎は、さまざまポーズで揺れている。収穫を待つ蓮根は、新年をどんな景色に見通しているのだろうか。

元朝や雄鶏ことに高鳴けり

昔、近所で飼っていた鶏が、元旦にはその鳴き声が一際大きく聞こえた。思わず、今年が良い年でありますようにと祈った。

住き年の予感か実千両光る

異常気象の続く昨今。床の間の正月の生け花は、明るい光沢のある実千両。新しい年が、平和で幸せであるような予感がする。

護摩火赤つと万の願いの初詣

初詣は家族揃って成田山へ出掛けている。家内安全と共に今年も、更に祈願が増えた。身内に三人の受験生がいるからだ。

お年玉祖父より賜う昔かな

幼い頃、お年玉は元朝に、祖父から家族一人一人に手渡された。二コリともしない祖父に、厳かな雰囲気があった。

福寿草明るい会話弾みおり

年始客の話し声がある。迎えているのは福寿草。ほっこりふんよかな時が流れる。初口の中で、花と人との対話が眩しく輝く。

加藤 節子

狩谷 諭

小池 陽子

関沢 美江

高田 智子

沼尻 芳子

福嶋 マスイ

古橋 初子

新春に詠む川柳

ありがたや米寿の初日浦の上

健康に恵まれ息災に米寿を迎えられたことを素直に感謝しております。長寿者として国・市・地区から記念品等頂きました。

曾孫のお披露目もある祝い膳

お正月のめでたさと長寿を祝って親子四代が集まった。にぎやかさがとても嬉しい。

初詣願ひ膨らむ年男

神様はその年が干支の人の願い事は少し無理でも叶えてやろうとしていると、「冗談めかして結構本気で思っています。

一枚一枚心に刻む年賀状

昨今の賀状はカラフルで楽しい気分になる。

喪に服し抹茶をすすり屠蘇気分

亡母の喪に服し、楽しいお正月を如何に過ごすべきか。少しはお酒の量が減るだろうか。中身のある松の内にはしたいです。

ドウマイベスト夢が膨らむ初日の出

新しい年を迎え今年も最善を尽くしたいと思う。そうすればまた新しい夢が芽生え、素晴らしい一年になることであろうから。

ご時世で死語となつて福笑い

正月の風物詩の遊びも、時の流れと共に変化していく。スマホやゲームに押され、一家団らんが減っている。寂しい限りです。

野心まだ捨ててはいない奴胤

大空にのんびり浮かんでいる様に見える胤にも今年も飛躍をしたいと思います。私自身もそう有りたくは思っています。

田邊 余市

長井まこと

木内たけし

山口 笑花

内田 一水

堤 丁玄坊

白井 桃代

太田 鳴子